

Instagram「さしみシティ (nagasaki_sakana)」を活用した情報発信

・長崎の魚を提供する飲食店のさしみシティ賛同店舗を紹介する「さしみシティ日記」と、長崎の魚にまつわるイベントなどの「お得情報」を取り上げたリール動画を投稿した。

※「さしみシティ日記」を2回投稿⇒「お得情報」を1回投稿のサイクルで投稿)

・業務受託者の再委託先のInstagramアカウント（R6.2時点 フォロワー4.1万人）と原則共同投稿としており、同アカウントのフォロワーやリーチを活用し、「さしみシティ (nagasaki_sakana)」へのアカウントリーチ・フォロワーが増加した。また、業務受託者の再委託先以外のインフルエンサーとの共同投稿もスポットで行い、新規ユーザーのアカウントリーチ・フォロワー獲得に努めた。

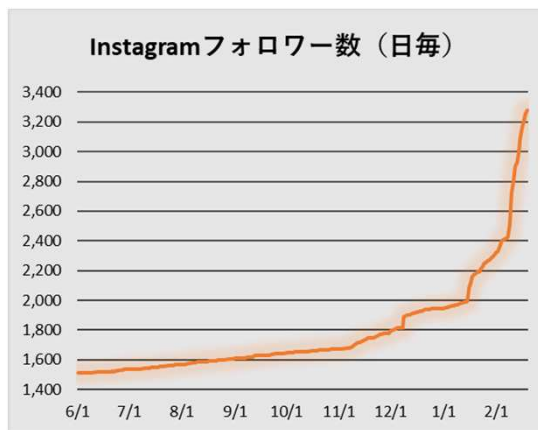
・長崎市の集客が高まる「ランタンフェスティバル」の開催に合わせ、トラフグや伊勢海老が当たる「フォローキャンペーン」を2回実施した。



さしみシティ日記



フォローキャンペーン (1回目)



※2024年2月19日現在3,306人

フォローキャンペーン前に、以下雑誌で広告を掲載

- ・ながさきプレス
- ・シティ情報ふくおか
- ・シティ情報おおいた
- ・タウンみやざき
- ・TJカゴシマ



「SNS・各種広告媒体・販促グッズ」

仕様書別紙 1

「公共交通機関（航空機・駅・バス）」での情報発信

JAL機内誌「SKYWARD」 R6.1月号

月間250万人の利用者が見込まれる国内線・国際線全て対象で、長崎線到着便には連動した機内アナウンスが実施（ランタンフェスと連動）

バスシートポケット広告 R5.7月～R6.3月

長崎空港リムジンバス(10台)及び九州号(長崎～福岡)(40台)におけるシートポケット広告として「ガイドブック」を設置

長崎駅電照看板広告 通 年

長崎駅での着地情報として「さしみシティ」のアイコンを露出

「SKYWARD」掲載記事



バスシートポケット広告



長崎駅電照看板広告



「SNS・各種広告媒体・販促グッズ」

仕様書別紙 1

「イベントフリーペーパー」「地元情報紙」「ガイドブック」などでの情報発信

ランタンブック2024

R6.2月

ランタンフェスティバルの開催に合わせて発行されるフリーペーパーで40,000部発行（各会場・観光案内所、ホテルなどに設置）

提灯・フラッグの屋外広告

R6.2月（ランタンフェスと連動）

街全体でさしみシティの盛り上がりを演出するため、中心繁華街（銅座・思案橋）に「さしみシティ提灯」「フラッグ」で広告

ながさきプレス

R5.11月

長崎県を中心とした県内唯一のタウン情報誌

長崎新聞首都圏版

R6.1月

首都圏を中心に、長崎県内の空港・ホテル等で配布

「ランタンブック」掲載記事



提灯・フラッグの露出



ながさきプレス



長崎新聞首都圏版



「SNS・各種広告媒体・販促グッズ」

仕様書別紙 1

「ガイドブック」「カード」での情報発信、「販促グッズ」の提供

グルメガイド

通年

JR長崎駅観光案内所、市内ホテル、各種イベント等で配布
110店舗のさしみシティ賛同店舗を掲載（R6.2月 現在）

さしみシティカード

R6.2月～

さしみシティ賛同店舗をGoogleマップでリスト化
二次元コードを貼付し、店舗の位置情報・レビュー
情報を提供。市内観光施設等で配布



ポスター・タペストリー・ステッカー等

随時提供

さしみシティ賛同店舗に対し、無料でポスター、タペストリー、
ステッカー、のぼりなどを提供



【参考】さしみシティカード紹介

「さしみシティ賛同店舗」の情報を紹介！



Googleマップで簡単にお店を検索！

- ✓ Googleマップ上で「さしみシティ賛同店舗」を紹介。カードの二次元コードを読み込むと近くの賛同店舗から検索できます！
- ✓ Googleマップのお店情報から、お店のレビューやメニューを見ることができます！



Instagramでお得情報も！

- ✓ 「長崎の魚」にまつわる物販イベントの情報などを発信！
- ✓ 魚は面倒くさくない！「長崎の魚」を手軽に楽しむための情報を発信！



配布する場所ごとに違う魚種のカード！？

- ✓ 長崎近海で獲れた魚の図鑑「グラバー図譜」をデザインに採用。図譜には全806図が掲載されていて、「写真」ではなく、全て「絵」なんです！
- ✓ 観光施設等で配布。施設ごとに魚の種類が違うので、色んな魚を集め、長崎の魚種の豊富さを実感しては？



さしみシティカードを配布する観光施設等は二次元コードから



日本西部及び南部魚類図譜

〔グラバー図譜〕

グラバー図譜は通称で正式名称は「Fishes of Southern and Western Japan(日本西部及び南部魚類図譜)」と言います。

シーボルトの『日本動物誌』の中の魚類図、栗本丹洲の『栗本魚譜』、熊田頭四郎の『熊田魚譜』と共に日本四大魚譜の一つとして知られています。

図譜は、明治末から昭和初期の約25年間の間に、トマス・グラバーの次男、倉場富三郎(Thomas Albert Glover)により編纂されたものです。

中村三郎など5人の画家の手により、主として海産の魚介類約800図、全32集から構成されています。図譜の大半は魚類ですが、ほかにイカ・タコ類やエビ・カニ類なども描かれています。

各図には魚の断面図や鱗の拡大図も添えられ、更にはその魚の種名、和名、方言、産地が倉場氏自身の調査によって記載されています。

倉場氏の死後、図譜を託された渋沢敬三氏から長崎大学水産学部に寄贈され、現在は長崎大学付属図書館に保管されています。